

4年間の学び

スポーツ健康科学科

スポーツコーチングコース

スポーツトレーナーコース

スポーツライフコース

からだを軸に科学・健康・文化を学び、
スポーツで社会に貢献できる人材を目指す

スポーツの基礎的な理論や知識を学べる授業に加え、スポーツをあらゆる角度でとらえるユニークな授業が多い本学科では、スポーツ指導者やトレーナーはもちろん、スポーツの枠を超えたさまざまな分野の職業を目指します。また、スポーツインターンシップ実習、スポーツプロジェクト実習などの体験型授業を通して、現代社会で必要となる実践力を強化。中学校・高等学校の保健体育の教諭免許の取得も可能です。

進路に応じた実践力獲得の流れ

	1年次	2年次	3年次	4年次
共通	スポーツ医学・生理学・心理学・栄養学・バイオメカニズムなどの基礎理論の習得 陸上やハンドボール、ダンスなどスポーツ実践能力の獲得		専門演習Ⅰ・Ⅱでスポーツの教養を深める 各種スポーツ指導法・コーチング論で指導理論を学ぶ	
	コース選択	ゼミ配属		中高 教員免許授与
スポーツ指導者・コーチ		スポーツ指導者論、スポーツ心理学、各種スポーツの指導法を学ぶ		スポーツコーチング実習Ⅰ(学内)Ⅱ(学外)で現場力を身につける
スポーツトレーナー		テーピング論、コンディショニング論、スポーツリハビリテーション論を学ぶ		スポーツ現場実習Ⅰ～Ⅴでトレーナーに必要なスキルを身につける
スポーツアナリスト		スポーツ情報処理論、スポーツ情報戦術論、スポーツ映像分析論を学ぶ		桐蔭スポーツアナリティクスラボ(T-SAL)で実践力を養う
スポーツ関連の企業や団体職員		地域社会とスポーツ、スポーツ政策論、NPOマネジメントを学ぶ		スポーツプロジェクト研究、スポーツインターン実習で実際の現場を体験する